



まち中のバリアフリー探し



飯山市社会福祉協議会 理事会・評議員会

5月24日(月)に理事会、5月25日(火)に評議員会が行われ、平成21年度事業報告・決算審議が行われました。

評議員会の中では、広報についての意見が出され、事業周知の際、しっかりとチェック体制をしていき、市民の方にみえる事業周知を進めていくことが重要であると出されました。

社会福祉協議会では、子どもから高齢者までを対象に、様々な事業を展開しております。「誰もが住み慣れたところで安心して暮らせる」福祉を指して取り組んでおります。



評議員会の様子

“立ち上げられ若手高齢者 地域の若い力”

飯山市老連・会員加入促進委員会

委員長 小林 常男

国では老人福祉法第十三条第二項に基づいて「老人クラブ等事業運営要綱」を定めて法的な位置づけと補助を行っております。

飯山市老連は財団法人長野県老連の傘下の団体として活動しています。

団塊の世代の人たちが定年を迎え若手高齢者が増加しているのにも関わらず時代の变化なのか、利己心なのか、お互いに高齢社会を支え合う心の優しい友愛活動に積極的に参加していただけないのが実状です。

積み重ねてきた人生の知識・経験や体験など若い活力を世のため、人のために尽くしてみませんか？

何れは「誰もが通る道」避けて通るわけには行かない、みんな同じ仲間なので、社会問題になっている孤立化・孤独死・認知症・閉じこもりなどを防ぐためにも、飯山市老連の会員加入に参加されて、健康で明るく元気な安全で安心して暮らせる、楽しい人生を過ごしていただくことを願っています。

【各地区の区長さんへ】

(事例) K地区老連が前年度末一時休会しましたが若手の力で再発足。

※休会している地区の区長さんには老人福祉法をご理解を頂き、若手高齢者の会員加入促進にご協力とご支援をお願い申し上げます。

上げます。

【市老連会員加入促進委員会】

委員長 小林 常男
副委員長 丸山 幸雄
” 丸山 一則
” 津端 喜代子
” 西澤 吉一



老人クラブは60歳から加入できます

福祉体験教室「わくワクとうど塾」開催



わくワクとうど塾の様子

5月22日(土)に平成22年度『わくワクとうど塾』が行われました。市内の小学校4、5年生の参加者とボランティアスタッフ15名で活動を行いました。

今月は「飯山のまちを歩いてみよう」みんなが住みよいまちを考える」というテーマのもと、グループに分かれて市街地を歩きました。

歩道の段差や、ポストに点字がついていることなど、いろいろな気づきがありました。高齢者の方や障がい者の方には不便な場所も見つかり、「そういうところはみんなの手を貸し合っていこう」と参加者の意見でまとまりました。

次回6月19日(土)は、「年をとってどんなこと?」(高齢者疑似体験)を行います。

参加者は随時募集しています。1年間を通してみんなで楽しく福祉のことについて考えていきましよう。

今年もやります!!

いいやま児童館まつり

～あそびこいこいあそびワールド～

飯山市児童センター等では、今年も夏休みに『いいやま児童館まつり』を開催します。大人から乳幼児まで楽しめるような企画を進めています。

日時 平成22年7月24日(土)
午前9時～13時まで
場所 旧二中体育館・城北グラウンド
内容 ●働く車の展示ゾーン
●工作ゾーン
●遊びのゾーン
●乳幼児ゾーン
●バザーゾーン

※(次頁の募集欄をご覧下さい)
●フリーエントリーの

ドッチビー大会

☆エコキャップ(ペットボトルキャップ)を集めて持ってきたり、ドッチビー大会や遊びのゾーンに参加して、ポイントをもらおう。

☆ポイントは工作ゾーンの体験やお菓子に交換できるよ。



昨年のドッチビー大会の様子

『平成22年度 訪問介護員養成研修2級課程』開講

6月1日(火)から8月31日(火)までの3ヶ月間、長野県の民間活用委託訓練事業「介護福祉・住環境科」を受託し、「平成22年度訪問介護員養成研修2級課程」が始まりました。

離職者の在宅福祉サービスへの再就職に寄与すること及び高齢者及び障がい者の社会福祉の向上を目的としており、ホームヘルパーとして必要な介護知識・技術・マナー及び福祉住環境コーディネーター2級の知識技術を習得し、ホームヘルパー2級、福祉住環境コーディネーター2級の資格取得を目指しています。

参加者は、飯山市、中野市、須坂市、山ノ内町、木島平町、小布施町、高山村、飯綱町などから20名の方が受講されています。



開校式の様子



熱く受講生に語る、比田井氏

午後の講演では、上田情報ビジネス専門学校副校長比田井和孝氏より『私が一番受けたいココロの授業』というテーマでお話し頂きました。

普段、学生にいつも「あり方」の大切さを伝えていることでした。「どんな心構えで取り組むか」、「どんな思いで」、「何のために」と考えながら心構え一つで質が変わっていく。「資格を取らせるのではない。就職をさせるのではない。一人ひとりが幸せになって欲しいんです。」と受講生に熱くエールを送っていました。